

健康登山08:周辺の山04(沢山、十三石山等)

コース	福王子 3.7km/110	沢山 1.1km/22	沢池 1.4km/30	上ノ水峠 2.0km/51	ト
	京見峠 0.9km/22	城山 1.8km/32	小峠 1.4km/41	十三石山 1.7/53	
	レイル道 1.2km/26	山幸橋 2.3km/81	向山 1.6km/43	二ノ瀬駅	
水平距離	19.1km				
水平換算距離	25.5km				
累計高低差	登り1373m、下り1275m				
標準歩行時間	8:30				
実績歩行時間	9:00				
		断面図			



山行報告

山行日 2006・1・12(木) 天候 晴 参加者 7名

福王子9:12 沢山11:06 沢池11:42~12:21 上ノ水峠12:47 京見峠13:34 城山  
 行動 13:50 氷室神社14:16 小峠14:37 十三石山15:23 尾根道分岐16:01 トレイル道  
 16:37 山幸橋17:15 向山16:30 夜泣峠18:54 二ノ瀬駅19:23 出町柳

記 録

今回は東海自然歩道、清滝～二ノ瀬の周辺コースとして洛北の里山4山に登った。  
 ストレッチをした後、9:12に7名で福王子を出発。  
 HRさんの先導で法蔵寺西側の森を抜けて沢山の登山口に着く、ここから登りはじめ途中で岩が露出した通称京見台で小休止、その後一気に本日の最高地点516.8mの沢山まで登った。  
 一旦分岐まで戻り沢ノ池で昼食を摂る。沢ノ池は残雪と氷結のある絵画の世界だった。  
 沢ノ池から京都一周トレイル道を辿り、上ノ水峠、京見峠を経て二つ目の三角点城山に登った。城山は灌木に覆われているが城跡の面影を留めている。  
 氷室神社に立ち寄り、集落を抜けて小峠までトレイル道を歩いた。トレイル道は要所に道標があり安心して歩ける。  
 小峠から満樹峠を越えて十三石山に登った。十三石山からは比叡山がきれいに見えた。  
 下山は尾根道分岐からトレイル道に下ったが急斜面で苦労された方もおられた。  
 その後はトレイル道を通り山幸橋で一次解散をした。3名がバスで帰られた。  
 ここまでの水平距離15.2km、水平換算距離19.3kmで一般コースとしてはハードである。  
 小峠から十三石山までの間は往復とし、往復する間希望者には小峠で待機してもらう方法があったと思う。  
 山幸橋で既に17時を過ぎていたが4つ目の向山へ向った。  
 ペースを上げて登ったが日没で向山の山頂は確認できなかった。慎重に向山と夜泣峠の分岐まで戻り、夜泣峠を経て7:23に二ノ瀬駅に着いた。  
 このコースは近場で気軽に北山を楽しめるおすすめコースである。

周辺の山 (福王子~沢山~十三石山~二ノ瀬)



福王子神社を  
出発  
09:12



京見台で  
10:14



沢山の三角点  
11:06



沢池へ向う  
11:36



沢池出発  
12:21



京見峠へ  
13:20



氷室神社  
14:16



満樹峠  
15:01



十三石山から  
見た比叡山  
15:24



急な下り坂  
16:20

## 名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：福王子神社～沢ノ池～山幸橋～二ノ瀬駅）

福王子神社：祭神は光孝天皇（第 58 代 884～887 年）の皇后。五王子で宇多天皇（第 59 代）他、皇子 皇女を多く生んだので『福王子』という。

夫荒社（末社）：夫荒神を祀る。丹波国の氷室から宮中へ氷を運ぶ役夫が暑さのため死に、その霊を祀るために創祀したという。

宇多野：古代は宇太野といった。宇多の氷室があったが現在は不明。

光孝天皇陵：京福電鉄高雄口駅の近くにある。

円融天皇陵：第 64 代、696～984 年

村上天皇陵：第 62 代、946～967 年、妙高寺の北。

妙高寺：臨濟宗の寺、野々村仁清の墓がある。

陽明文庫：福王子の北、近衛家の近衛文麿首相が昭和 13 年につくる。  
国宝 8 点、重文 25 点を含む 20 万点の古文書その他が収蔵されている。

京見台：三宝寺から沢ノ池へのハイキングコース途中にある大きな岩山。  
視界が開け、京都市街地が望める。

沢ノ池：標高 400m の山中にある周囲およそ 2km の灌漑用人工池。  
江戸時代鳴滝、宇多野方面の田園用に農業用水の井堰が設けられていた。

京見峠：丹波や若狭からの旅人が都に向う途中、この峠で初めて京都の街並みを見ることができたところからこの名がついた。  
京の七街道のひとつ丹波街道の道筋でもある。  
南北朝動乱期に京都にいる足利尊氏を攻めるために官軍が陣をはった所。

鑓磨岩：京見峠の近くにある。槍を磨いたかも？  
近くに（前坂道側へ入ったところ）栗栖野氷室跡がある。

城山：明智光秀が築いた堂ノ庭城跡である。

氷室神社：氷室山と呼ばれて古代は清原氏の領地であった。  
仁徳天皇の時代に氷をつかって額田大中彦皇子に献上したという稲置大山主神を祀る。創建は不詳。京都に五つの氷室があったことが延喜式に記され清原氏がこれらの氷室でつくった氷を朝廷に献上していた。  
（叡電宝ヶ池駅東側山にも氷室があった）

十三石山：山年貢の石高を表わす。その石高が山名となったと思われる。  
例、二石山（福井県）、三石岳（大津市）、千石岳（山口県）  
1 石は 10 斗（約 180 升）材木などは 10 立方尺（約 0.28 立方尺）  
山年貢：所有の山に賦課した年貢。山そのものに課せられた点で、材木に課せられた山役とは異なるがのちには混同された。